

スイカ (ウリ科)

瑞祥、夕ヒチ、紅こだま

1 作業体系

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
作業体系				播種 ○	定植 ◎	追肥 -----	収穫 □□□□					

2 ここがポイント！

- ・生育適温は25℃前後で比較的高温・乾燥を好みます。
- ・初期の樹ボケは収量減につながるので、肥沃な畑は基肥を減らします。

① 畑の準備

おいしいスイカを作るには必ず排水の良いほ場を選びます。植え付け2週間くらい前には基肥を入れてよく耕しておきます。

② 植え付け

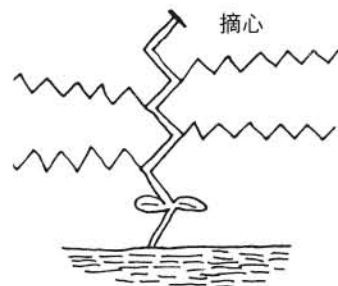
つる割れ病に強い接ぎ木苗を利用します。

③ 整枝

本葉5～6枚で摘心し、強い子づるを4本伸ばします。

④ 授粉・摘果

開花を確認したら、人工授粉をします。12～20節目に着いた果実を残し、他は摘果します。残す果実は授粉日のラベルをつけておくと、収穫の判定に便利です。果実がソフトボール程度まで肥大したら、花落ちの部分を下にしてきちんと置き、変形を防ぎます。

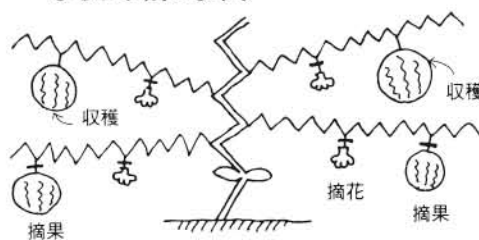


つるが伸び出したら敷きワラをして病害発生、乾燥、果実の汚れを防ぎます。

人工交配

開花した日の朝、8～9時ころまでに花粉を雌花の柱頭に軽くなすりつけます。

子づるの6～7節目に着生する最初の雌花は全て摘み取ります。12～15節目の2番花を着果させます。ソフトボールぐらいの大きさに生育したら1株2果になるよう残します。



※子玉スイカの場合2～3果残します。



⑥ 追肥

果実がこぶし大の頃、つるの先端部分に肥料を施します。その後、生育を見ながらつるの先端部分に肥料を施しますが、7月上旬までには終えます。

3 施肥設計

10m²あたりkg

肥料名（窒素－リン酸－加里）	基 肥	追 肥		備 考
		1回	2回	
土力のおかげ堆肥	10～20			
BM苦土重焼燐（0－35－0）	0.4			
野菜有機ペレット（10－5－7）	1.0	0.4	0.4	

4 収穫

授粉後、40～45日が目安です。小玉は、33～38日が目安となります。

5 病虫害防除

生育初期はウリバエの被害を受けやすいので、ホットキャップは防除効果もあります。過湿・過繁茂は炭疽病、疫病、つる枯れ病の発生を助長します。

6 豆知識

最近、白血球の働きを助け、ガンに対する免疫力を高めると言われています。古くスイカ糖やスイカ飴は健康食品とされています。ビタミンAやカリウムが多いです。利尿作用もあります。摘果した幼果は、ぬかみそ漬けに利用できます。

	赤肉スイカ（生）
ビタミンA（カロテン）	830 μg
ビタミンC	10 mg
五訂 日本食品標準分析表より	（100 gあたり）